

2021年4月21日

兵庫県社会保障推進協議会  
〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7  
兵庫民医連内  
電話 078(303)7351 / FAX 078(303)7353  
Eメール: syahokyou@hyogo-min.com

- \*生活保護基準引き下げ違憲訴訟第25回裁判  
5月20日(木)13時、神戸地裁→報告集会
- \*「いのち署名」国会請願署名提出5月20日(木)
- \*兵庫年金裁判控訴審③5/25(火)大阪高裁
- \*県政学習会6月7日(月)14時～保険医協会  
「兵庫県の地域医療・福祉」(仮称) 講師:平田雄大氏
- \*生活保護基準引き下げ違憲訴訟最終弁論7月29日(木)
- \*県社保協第50期定期総会7月31日(土)午後

## 75歳以上医療費窓口負担2倍化に抗議 街頭宣伝「署名は22日の国会に届けます」



今国会の衆議院に提出された75歳以上医療費窓口負担一部2割導入等の廃案を求めて、兵庫県社会保障推進協議会は15日(木)神戸元町大丸前で、署名・街頭宣伝を展開しました。兵庫民医連、保険医協会、年金者組合、兵生連、兵庫労連など宣伝物を持ち寄り、感染対策を取りながら署名を呼びかけました。

窓口負担2割の対象者は約370万人で、80歳代以上の負担増は年間36,000円になります。「現役世代の負担軽減」を口実にしていますが、現役世代の軽減は1人あたり年間350円程度。軽減されるのは国・自治体の公費980億減の削減、

若い世代にも高齢者にも社会保障の負担を増やし、自己責任とすることがねらいです。

国会周辺でも頻繁に要請行動がとられ、各地で議員要請や街頭宣伝が取り組まれています。

22日(木)の国会要請行動に参加予定の保険医協会副理事長の川西敏雄歯科医師はマイクを握り、「皆さんの書いていただいた署名は必ず国会に届けます」と署名への賛同を訴え、医療の国民負担増の問題を指摘しました。

年金者組合兵庫県本部の参加者は次々にマイクを握り、廃案を求めました。コロナ禍で受診控えがある中、窓口負担増はいっそうの受診抑制がかかり、重症化につながる危険性も危惧されています。署名宣伝行動には、

14名が参加し、設置した机に12名の署名が寄せられました。



今後 兵庫県社保協では、国会で病床削減推進法案が審議入りする中、兵庫県に対して「コロナ禍を踏まえた医療体制・感染対策を求める緊急要望」を提出し、4月30日(金)15時から県庁議会棟3階で懇談を予定しています。ご参加ください。